釧路東高校Ｃ・Ｓ通信

令和８年 11 月 24 日発行　第 11 号

第２回学校運営協議会報告

令和８年度第２回目学校運営協議会を 11 月 19 日（木）本校会議室において蝦名弘幸会長をはじめ、６名の委員の皆様にご出席していただき実施しました。

蝦名会長からご挨拶をいただいた後、校長挨拶を経て事務局から令和８年度のこれまでの教育活動について説明を行いました。

今年度取り組んでいる、地域との連携の強化について、地域探究学習の取組や地域ボランティアによる学校行事サポートの取組、くしろ若者サポートステーションと連携した学内相談室の設置などこれまでの実績に加え、現在実現に向けて準備している釧路公立大学の学生による学習サポーターボランティアや民生委員による教育活動の協力についても説明がされました。各分掌の取組については、教務部からは授業改善の取組である「東高スタンダード」の構築やベーシックスタディの改善について、生徒指導部からは、今年度の重点項目である身だしなみ指導の進捗状況と後期から実施しているスマートフォン指導の取組について、生徒会主導の「自由と責任」の取組について、進路指導部からは、関係機関と連携した進路指導の取組と３年生の進路状況についてそれぞれ説明がありました。

続いて２学年地域探究学習の代表グループから「釧路の名物開発」というテーマで進捗状況を報告しました。釧路の知名度向上を目標に、釧路産の野菜を用いたクッキーを開発し、食を通して地域を盛り上げていく企画について代表生徒が発表しました。

第２回協議会では、昨年度から学校課題について委員の皆様のご意見や課題解決に向けたアイディアをいただく場として、グループ協議の時間を設けており、今回は「地域による教育活動のサポートの在り方」をテーマに活発な意見交流がなされました。今回のテーマは多様化と多忙化する学校において、教育の質を確保しつつ、教職員の負担軽減を両立する上で、地域との連携はより一層重要な位置付けになることを踏まえたものです。協議には、オブザーバーとして参加された釧路町商工会青年部の皆様にも急遽参加していただきました。「学校に学校運営協議会の席や部屋を設けて支援しやすい環境を構築しては？」「地域の元教育関係者に協力を仰いでは？」「釧路町のコーディネーターと連携して、ボランティアを募っては？」「民生委員経由で町内会と連携しては？」など多数の貴重なアイディアやご意見を頂戴することができました。いただいたアイディアやご意見を参考に自走する地域連携のしくみの構築に繋げていきたいと考えております。





委員の皆様、商工会青年部の皆様にはご多用の中、ご出席していただき、貴重なご意見を頂戴し誠にありがとうございました。皆様から頂いたご意見を今後の学校運営に反映させていきたいと考えております。